

第80回 大分県畜産共進会
審査報告

令和元年11月

大分県畜産共進会事務局

審 査 講 評

第80回大分県畜産共進会 肉牛の部（令和元年10月5日）

第80回大分県畜産共進会、肉牛の部の審査が皆様のご協力により無事終了したことに對しまして、審査委員を代表して心からお礼を申し上げます。

枝肉の審査につきましては、（公社）日本食肉格付協会の牛枝肉取引規格を基準として行いました。

まず、黒毛和種去勢牛ですが40頭の出品がありましたが、6頭は枝肉重量が基準に達していなかったため参考出品となり、計34頭で審査いたしました。

34頭の平均値は、A率100%、枝肉重量507.6kg、ロース芯面積65.6cm²、バラの厚さ8.0cm、皮下脂肪の厚さ2.6cmでした。

昨年に比べ、A率、枝肉重量、皮下脂肪で成績が向上しています。

次に肉質ですが、4・5率は100%、BMS Noの平均は8.4でした。これは昨年の92.1%、BMS No 7.3に比べ、大幅に向上していました。

なお、評価の対象にはなりません。オレイン酸含有率の平均は54.0%であり、昨年よりも0.2ポイント向上していました。

この中から、最優秀賞首席は出品番号21号の豊後大野市、後藤泉さんに決定しました。

成績については、枝肉重量が526.1kg、ロース芯面積は77cm²、バラの厚さ8.9cm、皮下脂肪2.6cm、BMS No 12で、サシが非常に細かく、ロース芯面積もトップクラスで、僧帽筋など周囲筋が充実し

ていました。また、枝肉のバランスも良く最高の評価をしています。

以上のことから、審査員満場一致で最優秀賞首席とさせていただきます。

また、出品番号17番は、首席に劣らず、BMS、ロース芯も大きく、迫力のある素晴らしい枝肉でしたが、若干あらザシであるのを考慮し、残念ながら、2席とさせていただきました。

次に、2区の交雑種去勢牛は10頭の出品でした。

10頭の平均値は、枝肉重量558.5kg、ロース芯面積59.3cm²皮下脂肪2.8cm、BMS No4.2であり、昨年に比べ枝肉重量で若干低い数値となりましたが、ロース芯と皮下脂肪で改善が見られました。

そうした中で、今回の最優秀賞首席は、出品番号49号の豊後高田市、北崎敏文さんに決定いたしました。

この枝肉は枝肉重量613.9kg、ロース芯面積78cm²、バラの厚さ7.8cm、皮下脂肪2.4cm、BMS No7でした。

本日の出品牛の中ではBMS No が最もよく、また歩留も最高値を示していました。肉質においては和牛に匹敵する質を有していました。

よって、審査員全員一致で決定いたしました。

昨年に比べまして、黒毛和種では枝肉重量、A率、4・5率ともに上回っております。肉質の向上はもちろんですが、流通段階では歩留まりがより重要視されておりますので、今後とも一層の技術向上に努めていただきますようお願いして審査講評といたします。

本日はどうもありがとうございました。

令和元年10月5日

第80回大分県畜産共進会肉牛の部

審査委員長 河野 宣彦

審 査 講 評

第80回大分県畜産共進会
肉用牛の部（令和元年10月26日）

特別賞審査について審査講評をさせていただきます。

農林水産大臣賞には、第5区女性・後継者の部に出品いただいた46号牛、豊後大野市安藤直樹さん出品の「はつひさ2」に決定いたしました。この牛については、発育良好で体積に富み、また、雌牛らしい品位を持っており、前中後軀の移行もよく、側方からみても、後方からみても非常に優れた牛でした。また体上線も平直であり、雌牛らしい品位というところも感じさせられた牛でした。レベルの高い今回の共進会の中でも、一際素晴らしい出品牛ではなかったかということで、農林水産大臣賞に決定いたしました。

次に九州農政局長賞に決定させていただいた牛ですが、若雌の1区に出品いただいた2号牛、由布市大塚洋和さん出品の「やえひら30」でございます。この牛は母牛、祖母牛についても高等登録牛であること、また代々、由布市地域で保留されてきた雌牛から造成されてきた牛であることなどから、地域の改良の成果ということを

感じさせられる出品でした。10ヶ月齢の牛ですが、発育、体積とも良好でありますし、移行の良さというところも感じさせられました。また、腹腰の豊かさもかなりありまして、被毛も良好で肩付きもよく、非常に将来性のある牛と評価いたしまして、九州農政局長賞とさせていただきます。

また、27号牛については部位賞ということで、前中軀賞とさせていただきます。第3区に出品いただいた竹田市吉野純子さん出品の「かつじの2」でございます。この牛の前軀と中軀というのは本当によいものを持っておりまして、これだけの体の伸び、張り、資質を備えていることはすばらしいものがございます。今回の大分県畜産共進会に出品された多くの牛の中でも、特に前中軀でこの牛が最も優れていましたので部位賞とさせていただきます。

以上で審査講評とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

令和元年10月26日

第80回大分県畜産共進会 肉用牛の部

審査委員長 河野 宣彦

審査講評

第80回大分県畜産共進会

乳用牛の部（令和元年10月10日）

第80回大分県畜産共進会 乳用牛の部の審査結果をご報告いたします。

審査については、優美性とともに関能性や将来性を加味したうえで審査させていただきました。未経産は月齢に應じた発育、骨格の正確性、肢蹄、また良好なコンディション、肋腹の状態、経産牛は更に乳器の質、関能性、品位、乳用性を念頭において審査いたしました。

1部 多くの育成牛が出品されておりました。1位にしました101号においては、クラスの中で特にサイズのある牛ではありませんでしたが、品位に富み、肢蹄も良好、質感と乳用性に富んでいました。2位の108号も発育良好、肋の充実、肢蹄良好でありました。1位との差は乳用性、皮膚の薄さにおいて1位の牛の方が優っていました。上位の牛はコンディションも良い状態でした、下位の牛はコンディション食い込み状態、飛節の状態の改善が望まれます。

2部 このクラスは非常にレベルの高い牛が揃ってました。特に1

位にしました 205 号牛は質の良さと肋の方向・長さ優れた一頭でした。2位の 206 号においては、発育良好、若牛としての品位、骨格の正確性、スタイルに於いて優れていました。3位の 207 号の乳用性、肋腹の充実、背線の強さは評価いたします。

3部 少頭数でしたが1位の赤い牛 305 号においては、乳用性に優れた力強い牛でした。体高、体長肋腹の充実、また背腰の強さも優れておりました。

4部 妊娠も進み身体の充実した牛が出品されておりました。1位にしました 405 号においては、乳用性に富み、且つ高さとなりのバランスに優れ、肋腹も十分に発達しておりました。

【未経産最高位】

各部から2頭の計8頭で比較させていただきました。どの牛もこの場にふさわしい若牛達でした。その中で4頭を選出し2部の牛を最高位、4部の牛を準最高位にさせていただきました。2部の牛は出品された牛の中で特に質感と骨格構造の正確さを兼ね備えた1頭でした。4部の若牛も2部に次ぐ乳用性、品位の優れた若牛で全体的なバランスに優れた牛でありました。

5部 2歳 Jr クラスは2頭の出品でしたがいずれも2歳らしい良いクラスでした。1位およびBUの501号牛においては、正確な骨格構造とそれに見合った乳房バランス、頭から首、肩、尻の先まで輪郭鮮明でした。乳器においても乳頭配置、前乳房の付着も強く、後乳房も優れていました。2位の牛も鋭角的、乳用性に富んだ2歳でしたが乳器の幅、力強さや身体の充実具合で1位の牛の方が優位でありました。

6部 2歳 sr クラス、7頭の出品でした。1位およびBUにしました606号の牛、身体のかな牛ではありませんが、前軀の強さ、品位、乳器の質、機能性に優れておりました。2位の牛も骨格の優れた力強い牛でしたが乳用性、乳器の機能性において1位の方が優っておりました。

7部 3歳クラス、3頭の出品でしたが全体的に乳用性に富んだ牛が多く出品されておりました。1位およびBUにしました702号の牛、乳用性、品位、輪郭の鮮明さ、乳器においても質の良いものでした。2位の牛は、力強い身体、肋腹の充実度、体長と体高をした牛でしたが、1位にしました牛の方が、乳器における力強さと付着の強さを持っておりこの序列とさせていた

だきました。

8部 4歳以上クラス、5頭の出品の中で、802号牛を1位およびBUとさせていただきます。この牛は身体と乳器のバランスに優れ、特にスタイリッシュで乳用性、強さ、乳器においても前の付着、後ろ乳房の付着点の高さ、乳頭配置サイズにおいて素晴らしいものを示していました。2位の牛はこのクラスの中で最も素晴らしい身体をした1頭でした。1位と比べた時に乳頭のサイズ後乳房の幅と左右のバランスにおいて1位の方が優れている点で2位といたしました。その他の牛も素晴らしい牛だと評価し敬意を評したいと思います。

【経産牛最高位】

各部からの8頭を比較させていただきました。その中から6部2頭、7部、8部の4頭を選出いたしました。8部の1位を最高位、6部の1位を準最高位といたしました。最高位の牛は乳用性に富み乳器においても優れた機能性、付着点の強さを有しておりました。準最高位の牛も乳用性、乳器のすばらしさを有しておりました。準最高位との差は後乳房の幅と付着点において準最高位の牛の方が優れておりましたが、将来性のある2歳である事は認めております。

【総評】

結びに、本共進会乳用牛の部に出品いただきました出品者並びに
県酪農協をはじめ各関係機関の皆様に改めてお礼と敬意を評したい
と思います。

昨今の酪農情勢の中、多くの乳用牛が出品され本共進会が盛大に
開催されたことに感謝申し上げます。

また、2020年の九州・沖縄ブロック全日本ホルスタイン共進会
に向けて生産者並びに関係者一丸となってお尽力いただきますよう
お願いいたしまして審査講評といたします。

令和元年10月10日

第80回大分県畜産共進会 乳用牛の部

審査委員長 梅木 英伸

